

塩水橋—丹沢山—蛭ヶ岳

山行日：2014.07.23 天候：曇り 参加者：ha、ta、su

コース：塩水橋/7:25—天王寺峠/8:27—堂平分岐/10:36—丹沢山/11:40/12:17
—東屋/12:55/13:25—丹沢山/14:00—天王寺峠/15:44—塩水橋/16:35



平日にて車は少ない



昨日までの情報では本谷林道が崩落のため
通行止めが解除されていないので
塩水林道を堂平方面に上がり途中から
仕事路を天王寺峠に出ることに



しかし生憎の湿度が限りなく高く、仕事路の
ため落ち葉で埋もれた踏み跡
この時期、蛭が出て当たり前であったが
うかつも、まったく気が回らなかった
女性陣はさすがに完全予防を施していた
怖いものほど見たくなるもので、あそこにも、
ここにも鎌首を持ち上げていると大騒ぎ



天王寺尾根に上がっても
蛭はいたとのことだったが・・・



堂平分岐からブナの原生林地帯に行く





コース中唯一の鎖場

来るたびに崩落が
激しくなっている

此处まで来ると
丹沢山はもうすぐ





丹沢山山頂も貸し切り状態
ここまでで水を 1.5L 使ったが
汗は蒸発せず流れ落ちるのみ

既に予定時刻より 1 時間遅れだが
ここで引き返すわけにはいかず
コースのハイライトの稜線を少し歩くことに



表尾根と比較すると
縦走路も狭く高度感あり

ガスが濃く展望はなし



この先不動ノ峰からの展望は素晴らしいのだが
この天候ではと諦めて、この東屋で引き返す
ことに



下山コースの崩落箇所は慎重に通過すればと
バリルートをやめて本谷林道を降りると
工事車両が入っているということはもしや・・・



まさにたった今
崩落した土砂を除去したばかりの
ようだった